

# 太良町 議会だより

佐賀県太良町議会  
TEL (09546) ⑦0311  
編集 議会広報編集委員会  
印刷 松浦印刷社

## 「議会だより」

### 発刊にあたり

太良町議会議長 白水虎雄

このたび太良町議会議員十九名全員（一名欠員）の理解と協力により、「太良町議会だより」を定例議会毎に発行して、町民の皆さんに議会報告としてお届け

このたび太良町議会議員十九名全員（一名欠員）の理解と協力により、「太良町議会だより」を定例議会毎に発行して、町民の皆さんに議会報告としてお届け

申すまでもなく、太良町議会は町民の公選により選出された議員で構成する合議体であつて、太良町の意志を決定する機関



であります。

自治体として意志の決定を必要とする重要なものは、立法と予算であります。

この重要な職責を果たすために、全議員が良心にしたがひ、町民皆さんの総意を反映すべき使命観をもつて、議会活動に励んでおります。

議会と執行機関の関係は、よく車の両輪にたとえられますが、相互に牽制し均衡をたもちながら

## 「議会だより」

### 発刊を祝して

太良町長 西村寿雄

このたび「議会だより」が久し振りに、再び発刊されますことは、議員各位の町政に寄せる熱意が発露されたものとご同慶にたえないのでございます。

当町におきましては、かねてから議会活動も活発で、町政の進展に寄与されることも大きく、私も執行部も激励を受けて微力ながら、常日頃から全力をあげているところとなつておるの

幸いに、議員諸公の理解と協力は、益々緊密の度を加えるところとなり、相互抑制を加えない

ら、町民福祉と発展に努めなければなりません。

そこでこの「議会だより」を議会で自主的に発行することにより、よりよい議会活動を期し、町民のご理解を深めたいと思

います。

この「議会だより」が発行の回数を重ねることに内容が充実して、皆さんに親しまれるものに育つことをお約束して、ごあいさつといたします。

がらも、車の両輪のように町政発展に拍車をかける現状を呈し、これが町民各位の福祉と幸せとに繋るものと確信いたしますのでござ

います。

「議会だより」の発刊を機会として、当町議会が益々権威を高め、議会活動が盛んになることによつて、より一層、町政発展への礎となることを祈念いたし、お祝いのご挨拶といたします。



# 一般質問14名登壇

6月定例議会は補正予算の審議が中心であったが、一般質問も町政全般にわたり、活発な論戦が展開され、町長はじめ町当局の考えをただした。

## 町民死亡時に香典支給は

江口末男

町民が死亡した時は香典の支給はできないか

問 町民として納税の義務も果たし又これから果そうとする者が死亡した時は、この世の別れに死者の霊に全町民を対象として香典を供える考えはないか。

町長 人間最後の別れでもあり、全町民に対し一輪の花を供えるような気持ちで今後臨みたい。

青少年の非行防止について

問1 町内で青少年の非行問題をよく聞くが、前年度小中学校の非行状況

2 本年一月太良町青少年育成町民会議が設立され半年を経過したが、この町民会議と各部落育成会との取りくみ方は。

教育長1 他町より多く人員は

五十六人で、窃盗、傷害、詐欺、失火、シンナー乱用等となっている。

2 三月二日部落推進員研修会、三月二十四日町民大会、

六月九日青少年協役員会を開催した。

問 前年度警察に検挙と補導されたのが塩田町は五件で太良町は十五件、未解決も相当数残されていると聞く、この非行の原因をどのように分析しているか。

教育長 経済中心の生活態度が問題と考える。価値観の多様化、社会環境の悪化等があるが、責任は学校か家庭かと云われると、学校には全く責任がないとは云えないがむしろ家庭や社会に問題がある。

## 消火栓と水道管対策は

田原松四郎

消火栓使用と

水道管破損事故対策

問 去る五月消防団の部主催で区長の消火栓使用訓練が行われたが、後に二ヶ所の水道管破損事故があり一部地域で断水し、水道課は復旧に苦労されたようである。

問 他の町村より太良町は交通事故を始め事件も多く発生するため、地元警察では警らと補導に努力されているが、独身警官が着任されても借家が

なく困惑されているので、警察からの要請があれば警官宿舎建設用地として、公有地の提供はできないか。

町長 警察からの要請があれば用地については検討する。

消防団員の被服について

問 町内の火災又は非常災害時に、町民の生命財産を守ってくれる消防団員に靴の支給がないのはなぜか。

町長 消防の時だけ靴をはけば足を痛めたりするので、個人のもので我慢をしてもらいたい。

田原松四郎

この事故は訓練と関連があったと聞くが、受講者が初心者でいくらか操作ミスがあつたにせよ、管の破裂は管自体に欠陥はなかったのか、大浦簡易水道は開設後十五、六年を経ており、管の性能が弱つ

ていたのではないか。

消火栓は町内百七ヶ所に設置され効果に期待が大きいだけに、事故が欠陥によるとなれば不測の大火等では一大事になると思う。

十分点検し、年次改良計画等処置が必要と考えるがどうか。

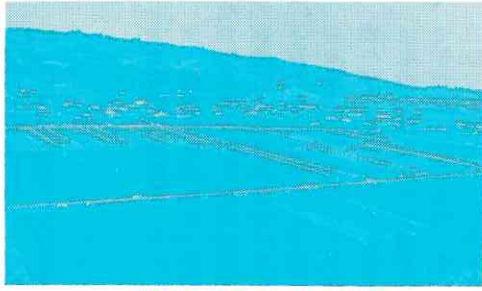
町長 破損事故で断水し申しわけない。水道管の耐用年は二十五年だが通常三十年位は使えるようだ。

太良町は石ころが多く、管の埋設には石を除き砂を入れて安全をはかっているが、国道二〇七号沿いは大型車通行の振動で砂が沈み石が出て、管の破損が頻発している。

工事の一番早かった中心部の亀の浦線は今水圧も強くなくなり、又故障発見も困難なところなので補助管でも通し、いつでも切替えられる方法等名案を研究中で、町内では栄町と亀の浦が特に心配なので三、四百万円位で夫々改良していきたい。

事故防止のため、消火栓の頻繁な開閉操作をしないよう指導をお願いしたい。(水道、総務両課長よりてんまつ説明)





圃場整備が完成した川原地区

役場支所窓口へ下足通行  
 問 地区民待望の大浦公民館が見事に完成し、この新館で支所窓口業務が開始されたが、下足通行が許されないか。  
 教育長 当初設計による計画どおり下足通行結構である。清潔保持に町民のご協力を願います。

## 圃場基盤整備事業の計画は

川瀬勝

水田の圃場基盤整備事業の計画はないか  
 問 本町の農業構造基盤整備は畑地に於ては千三百町歩のみかん圃の造成がなされ、基幹

作目として農家経済が保たれたが、現在需要供給のバランスが崩れ、価格は暴落し、一方水田に於ては米の減反による所得が減少し、農作業は機械作業に変わったが能率の向上は出来ず、近代農業による所得の増大も圃場の整備なくては農家経済に大きな不安と後継者の減少も考えられる。  
 県内各地で急速な勢で本事業がなされているが、本町に於てはどのように考えているか。  
 農林課長 農家の方は近代農業と取組み、複合経営による所得の増大を考えておられることは承知している。  
 自然休養村事業として二ヶ所計画したが、いろいろ問題があり、結局川原に実施し立派な圃場が完成し生産性の向

上ができている。  
 災害復旧が五十七年で終るので、本事業に取組む計画で地元関係者の協力と理解があれば実現できる。

要望 政策面で積極的に前向きな姿勢で取組まれない。  
 町道の維持管理と改補修の対策について

問 町道は勿論農道も整備舗装がなされ、町民の文化生活上に、農家にとっては生産性の向上にその成果が認められていることは誠に喜ばしいことと思うが又反面流水、破損箇所等による人命財産、交

## 伊福漁港の早期着工を

与猶代

伊福漁港の早期着工を  
 問 伊福漁港の整備を目的に、五十五年度に取付道路着手予算三百万円を計上されたが不執行に終り、改めて今年度同額が予算計上された。  
 海苔シーズン等の関係から漁民の早期着工の要望に対し、着工の時期と計画を説明されたい。  
 町長 伊福は漁港として認定さ

通事故につながる危険箇所を見受けるが、その調査、改補修はどのように計画しているか。  
 建設課長 町道は舗装を主体に整備してきたが現在十八万五千六百メートルの舗装ができている。  
 危険箇所については毎年調査しているが、再調査をし災害復旧と併せて改補修を計画している。

要望 町民の人命と財産を守ることを優先に再調査し、改補修は積極的に取組まれない。

町長 消防団員の任命は団長が行う。現在いろんな事情で欠員もあつて五百六名が実態である。

将来定員を五百名に変更して減らしたその分だけ団員の待遇改善にあてたい。  
 消防団でも極力優秀な人材でやっつていこうと現在五百六名を任命している。

問 定員を減らして、その分を団員にふりむけると云うことか。  
 総務課長 団員の定数を減らすのは、常備消防が設置されたからである。

問 五十六年中に着工するのか  
 町長 埋立申請を急ぎ、関係方面と交渉の上、財源としての百万円の見通しの五十六年中にはどうしても着工したい。

問 太良町消防団条例は定員を五百二十名と定めているが、五百名の役場だよりによれば、一般の役場より少ない。  
 五百八名任命されている。  
 水害等の天災時には一名でも多くの団員が必要と思うが定員より少く任命した理由はどうか。  
 町長 消防団員の任命は団長が行う。現在いろんな事情で欠員もあつて五百六名が実態である。

問 五十六年中に着工するのか  
 町長 埋立申請を急ぎ、関係方面と交渉の上、財源としての百万円の見通しの五十六年中にはどうしても着工したい。

問 太良町消防団条例は定員を五百二十名と定めているが、五百名の役場だよりによれば、一般の役場より少ない。  
 五百八名任命されている。  
 水害等の天災時には一名でも多くの団員が必要と思うが定員より少く任命した理由はどうか。  
 町長 消防団員の任命は団長が行う。現在いろんな事情で欠員もあつて五百六名が実態である。



# 太良町の振興計画は

中 村 智 利

## 太良町振興計画の

### 策定を急げ

**問** 町振興計画の策定が地方自治法第二条で義務づけられていることに基づいて、過去の定例議会で二回にわたり同計画の策定を急ぎ、これによって町政を行うよう質問を行ってきたが、まだ完成しないが、どんな構想でどの程度進んでいるか。

**町長** ご指摘の通りで申しあげにくいですが、昨年三月議会を目標に策定を急いだが、数回の課長会議や農業団体等からの意見の聴取など日程の半分を消化したが、水害等で現在中断している。

この機会にもう一度計画をたて直して質問にこたえたい。今の進捗状況は課長会議を開いて進めているということだけでそれ以上進展していないのが申し訳ない。今後は日程にしたがって早くやりたい。

## 町職員の退職勧奨による

### 退職者に対する町の対応は

**問** 俗に云う「肩たたき」で最近勇退した数名の職員をみると、嘱託等で役場に残る者、無職の者と個人によって処遇に差があるが、町としてはこのことについてどう対処しているのか。

**助役** 勇退者に対しては優遇措置要領を定めてやっている。

## 災害防止対策と 学校の米飯給食対策

大 鋸 四方太

### 災害防止対策について

**問** 今年もいよいよ豪雨と台風のシーズンが訪れた。

町は去る六月一日防災対策協議会を開いてその対策については遺漏ないよう万全を期しておられると思うが、一番心配なのは昨年八月集中豪雨により三十億三千万円以上の大被害をうけ、その復旧中で二次災害の恐れがあることで

町の業務の必要性に応じ、

本人の希望と合致する者とは業務委託契約を結んでいるが、中には本人の希望と町の関係があまりあわず現在仕事についていない者が二名いると思

う。今後は退職者の収入の道が開けるよう十分配慮する。

**問** 確認をしておきたいが、町としては後進に道をゆずって退職した者に対しては、再就職等の相談に応じ暖かく協力していくということか。

**助役** 質問者の意見のように私は考えている。

、それに対する対策又危険箇所

のチェック等についてはどう

か。

**建設課長** 昨年八月災害で公共

土木だけで三百五十三ヶ所被害額九億円以上に達した。

最も危険な箇所から復旧中で、五十五年度で約二〇パーセント発注している。今年度も六〇パーセントの割当はぜひ完成するよう努力

したい。

現在まで河川道路を含め最も危険度の高い箇所から八十六ヶ所発注している。

今後は危険度の高い場所から復旧し、維持管理は勿論だが、防災については十分考慮して頑張っていく。

**農林課長** 再災害を防ぐ対策としては、五十五年災で民家の裏山が崩れたり、農地が崩壊したりで生命と財産を奪うような箇所は速かに復旧に取組む。

裏の農地の崩壊等については特に国の補助を上のせした県単事業で六ヶ所を完了。

裏側林地についても五十五年度にできるだけ早く復旧するように取組んできた。五十

六年度に二ヶ所国の補助があつて発注済み、残り七ヶ所については県の補助をできるだけ早くつけてもらうよう申請して努力している。

その他道路、農地等についても危険度の高い所から復旧に努力する。

**問** 学校給食を米飯に切替え

える考えはないか。

**教育長** 現在米飯給食を週二回行なっている。米が余っているからと云つて米の給食とは

いかな。

校長が調査したのでは週二回位が適当だとのことであるが、要望があれば三回位は可能だ。

たばこは  
町内で  
買ひましよう





# 国道二〇七号(亀ノ浦)に バイパスを

百 武 豊

国道二〇七号亀ノ浦通りの

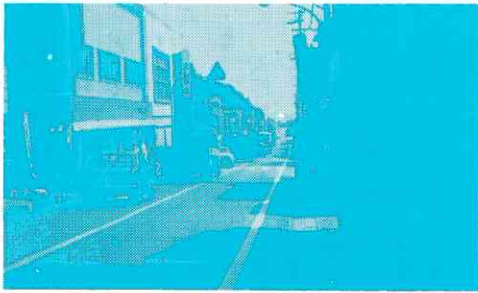
交通量増加と事故対応は  
激増する車社会の中で交通  
事故防止対策の努力もむなし  
く、年毎に増加している。

来春開通予定の江北バイパス、鹿島バイパスの四車線、七浦海岸線の計画もあり、亀ノ浦も根本的な施策がされないと国道二〇七号線の中で、将来大きなネックとなるのは必至であり、こゝらで道路の拡張かバイパスかの決断の時期と思うがどうか。

町長 土木事務所ともバイパスについて、対策を協議しているが名案が決まらず里から山手に上って今里に出る線も話題にあがっている。

どうしても今のままでいけないので裏の川に沿って短かいバイパスか広江から海岸に出るバイパスを何とかして貰いたいと陳情しているが結論がでない。

要望 地元では店舗改装や駐車場問題で悩みがあるのも事実



交通事故多発が心配される亀の浦商店街

である。

商店街の形成と観光、名木原、似田地区等の開発等下意上達の精神で配慮を願いたい。農林省管轄の牟田干拓地の

払い下げについて  
問 牟田干拓地の払い下げについては以前から論議され、議会も五十三年に農政局に陳情し、永い間の懸案なので前向

きに検討したい意向であったがその後の経過はどうなったか。

早急に払い下げをうけ漁船等の避難場所としての整備と不燃物等による恒久的な土地造成をしたら一石二鳥三鳥になると考えるがどうか。

町長 再三陳情をしている。かつて農政局長だった山崎平八

## 大浦白浜海岸に 栽培漁業センターを

坂 口 武 久

栽培漁業センターの設置を

問 わが国の漁業は二百海里問題

を契機に沿岸漁業の見直しが進み、魚礁設置の大型化・育てる漁業の育成・栽培漁業センターの設置が各地に行われ、佐賀県でも玄海地区で軌道にのってきたが、内海面で日本一の漁場有明海では、白浜海岸埋立地に中間育成場を設置と聞くが、今日の漁業不振にそなえ早急な設置が必要と思うが見とおしはどうか。

町長 今日迄水産試験場や国立栽培漁業センター誘致に努力したが、いろいろな問題で成功しなかったことを残念にお

郎代議士を通じ本省の局長とも具体的な話をして理解を得たが、その後参議院で問題になり本省から調査に来ることになっており、払い下げの事務手続きで研究中である。

参議院で指摘されても他所に払い下げになる可能性はないと思っっている。

もう。

幸いに玄海地区に栽培漁業センターが設置され、有明海カニの孵化に成功し、二年間にわたり大浦海岸に放流され、今年の漁獲を期待している土地・塩分のちがう玄海でなく、有明海の魚介類は有明海で育成栽培するために、強力に陳情し是非中間育成場の設置を実現したい。

大浦地区運動広場の設置

問 大浦地区町民の願望の大浦中学校運動場拡張にともなう海岸保全事業の、野崎海岸から大浦中学校迄の護岸工事は今年中に完成できるのか。

出来るとしたら来年夏休みまでに拡張はできるのか。

町長 大浦中学校の運動場は好条件に恵まれた町一番の運動場である。

護岸工事が三月迄に完成すれば早速夏休みを期し運動場拡張を完成したい。

要望 二点について行政の第一人者西村町長と、町民が選んだ県会議員と堅く手を結んで町発展のための努力を要望する。

### 六月議会の日程

六月二十二日	議会運営委員会
六月二十六日	開会、本会議
	議案の上程説明
	上水道拡張工事落成式出席
六月二十七日	議案調査のため休会
六月二十八日	議案調査のため休会
六月二十九日	一般質問
六月三十日	議案審議、質疑討論、採決
	閉会中の常任委員会付託



# 里部落前の国道を 追越禁止区域にせよ



追越禁止指定が要望される里部落附近

川下広海

が必要である。

右折車と追越しの車との接触事故が非常に多い。

大浦地区安全協会や里部落からも二年前に警察の方へ追越禁止をするよう陳情したが、いまだに実現しない。

江北バイパスが今年度中に完成すれば、現在にも増して危険度が高くなる。

交通安全対策と行政の上からどう考えるか。

町長 現在国道二〇七号線でもっとも広く歩道もバスレーンもつき完備された道路である。ここを追越禁止にするこ

とは私共も同感である。警察にも話したことがある。

道路は本来通行の権利がありこれを制限することは、通行の本来の姿をかえることになる。

里の追越禁止の必要性はわかるが道路として基本的な考えとしては自由に通行できることであり、これを制限することは非常に慎重を要することである。

里の出入口は町道もあり、右折の際、非常に困難なこともおこっており両方にカーブがあることが非常に危険を増している。

近く町でも交通対策協議会を開いて慎重に協議し、決議が得られたら公安委員会に要請したい。

陳情も出ているし早い機会に取りかかろう。

町民健康広場の信号付横断歩道の設置

町長 この件は前にも質問したが昨年度の事業であったのが予算の都合で繰越しになっている。夏休みも近くなり交通事故防止のため、早急設置の必要を感じるが町長の考えはどうか。

町長 先般交通対策協議会で鹿島の次席とこの件で話した。以前県警でその関係のしごとをしていたとのことで努力されるよう頼んだ。

町としても学生が帰省し、子供たちの交通が増すので、夏期休暇前に交通対策協議会を開き早期設置方の協議をしたい。

役場庁舎の改築はどうか

町長 現在太良町では庁舎が狭く農林課は図書館の三階にあり、駐車場も狭く、早急に改築の必要を認めるが町長の所見を問う。

町長 現在の庁舎は昭和三十三年完成であるが、それ以来国民年金を始め役場の仕事が増え、職員も増加して窮屈になり、又車社会となり駐車場も

町長 本町区は密集部落で今日迄すでに三基の設置を終え、五十五年度更に三基設置の予定であるが、二基は水道管が小さく設置されない。

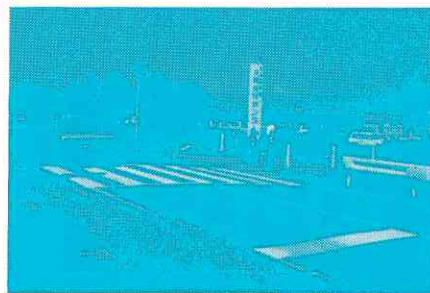
増補改良について問う。

消火栓の設置

町長 現在竹崎を実施中で本町も小田が給水区域外であったので五十耗であるが、小田も給水区になり大峰に配水池ができて水圧も高くなったので

## 町民健康広場に 信号付横断歩道を

待 永 九州男



交通信号の設置 (町民健康広場前)

狭く、コンピューター導入等の事務の近代化等ともあわせて、庁舎の問題は真剣に検討したいと思う。

## 委員会報告

経済常任委員会

陳情「林道の舗装について」三月定例議会で閉会中の審議を付託された本陳情は、中山地区からキャンプ場の上の林道の舗装を願ったものとして本会議に報告し、採択された。



# 多良中学校運動場の排水と住民の苦情に対応を

中 溝 忠 喜

**問** 多良中学校の運動場は狭く偏平型で利用度の低い実態なので、運動場がフルーに利用されるよう常に管理の対応が必要である。しかし排水溝は極度に悪く運動場の一部は利用不能の状況にあり、毎年雨期の豪雨で片山農道を沿うて流れる悪水は運動場を直撃して、運動場の水びたし・表土流出の一因となる。

その結果町道片山線沿いの住民に土砂の流出の被害を与えている。

これは学校の維持管理の限度を越すものであり、諸悪の根源を断つためにも、効率ある行政の対応が必要である。

**教育長** 学校教育については、町は基本として施設設備の改善・増設及び諸施設の管理等に力を注いで充実をはかっている。

特に管理面ではいつも学校側にも創意工夫を充分促して臨むよう努力はしているが、それでも充分とは云えない。

学校施設の管理は町の責務であるので、悪水・排水対策は現場を充分検討の上で取り組みたい。

土砂の流出については民家に迷惑をかけないためにも一番効果的方法で近い中に実現したいと考えている。

**問** 中学校の柔剣道場の西側には完備された側溝がないため

## 農道舗装は災害復旧と併進を

田 口 又 雄

**農道の舗装は梅雨明けに**

災害復旧と併進できるか

**問** 農道舗装の原材料支給については、厳しい財政事情の中で本年度も二千万円を予算計上した町長の決意は三月定例議会で理解し喜んでいる。

今年は近年にないみかんの豊作が予想され農家もいろんな問題をかかえている。

出荷時の道路の良し悪しはみかんの品質と作業面の能率

雨期の豪雨時には流れが氾濫して附近の建物並に小学校の運動場に荒れ狂う恐れも充分あるので、西側に三面張の水路を設置すべきと考えるが。

**教育長** 西側の排水に就いては水路に石がはさまっていたのを除去したので流れは良くなったが、ブロックの壁が溝を設けてどうにかしたいと考えている。小学校運動場の排水については中学校の校門とを結ぶ通学路を五十六年に設置するので併せて検討したい。

## 併進を

を左右するので、出荷時にそ

なえて今年度はぜひ梅雨明けから九月はじめまでに農道舗装の原材料支給を実施して貰いたいがどうか。

なおこの事業の災害復旧との併進のため種々の問題を生ずると思うが、原材料の価格の値上りで、町で五十六年度当初計画の延長約七千三百メートルは実施できるか、もし

できない時町長は、予算を補

正してでも計画どおり実施する気持があるかおたずねしたい。

**町長** 最近五ヶ年間の統計をみると、九千七百万円で三万二千四百メートルを舗装している。農道が十二万メートルと仮定すれば四分の一は原材料支給でやっており、他に町直営やその他の分を含めると農道の舗装率は相当高くなっている。

五十一年度は千二百万円、五十四年度の三千万円を最高に毎年予算をつけており、主要な農道は殆んど舗装ができあがったと思う。

みかんが豊作で運搬量がふえれば道路の重要性も高くなるので、災害復旧と併行してやっていく考えて確信をもっている。

**問** 現体制でこの事業の指導はできるか。

**農林課長** 原材料支給による農道舗装は、特別に災害復旧工事のような高度技術も要しないし部落と協議して進めるので現体制で質問と要望にそってやれる。

### 六月定例議会で議決した事項

○専決処分の承認を求めることについて

補助金及び起債の増額決定に伴う予算の補正五十五年度

○太良町公民館使用料条例の一部を改正する条例の制定

大浦公民館の新築に伴う使用料の改訂

○昭和五十六年度太良町一般会計補正予算(第一号)

一般会計の補正で、補正額が一千四百六十八万円・予算総額三十二億五千七百六十万円となる。

○公有水面埋立

道越漁港整備関連事業の道路敷用地の埋立申請に対する諮問

○靖国神社公式参拝実現要望に関する決議

○江岡川改修事業促進に関する陳情

○米穀政策・価格に関する意見書の提出を求める請願

○米穀政策・価格に関する意見書の提出

○「同和对策事業特別措置法」の国会付帯決議の早期実施に関する意見書の提出



# 栽培漁業センター

## を誘致せよ

石丸 等 一

**問** 栽培養殖センター誘致は栽培養殖センターについては坂口議員に対する答弁で理解できたが、かさねてたずねたい。白浜海岸の二万平方

米の埋立予定地内に水産用地として計画の場所に、有明漁連が現在計画中の、糸状体培養場を誘致する考えはないか。



栽培漁業センターの設置が待たれる白浜海岸埋立地

**町長** 有明漁連の基本方針によって決定されることであるが、町としては魚介類の養殖を最適の場所・必要な場所にセンターを設置する考え方にた

**問** 連とも話しあいたい。漁連の方針と一致するのかわりにはわからないが、町発展のために誘致運動をする考えはないか。

**町長** 皆さんは漁連の構成メンバーの一人として、漁連も最適地の大浦に設置するよう働きかけてほしい。

**要望** 皆さんと協力して誘致に努力する。一生懸命努力するので町長も強気に協力してほしい。

**問** 環境美化について 県内各地でノーポイ週間が実施されたが、町内の海岸・河川・空地などに雑物やゴミ

**町長** 役場・警察ともに現地を

巡回し各不法投棄者には注意し、各部落も美化運動に協力した。

この気持ちを忘れないように努力をしたい。

**課長** 全町民の理解も深まり、

## 竹崎漁港中波止 物揚場延長と局部改良を

北島 勝 義

**問** 太良町の各漁港も着実に振

展し、去る三月には道越漁港の落成式を挙行することができたのは町長の人徳によると太良町漁民一同衷心より感謝し敬意を表している。

竹崎漁港には現在百六十隻位の漁船が常時停泊保留しているが、いざ台風となれば第一防波堤港口が南東に向っているので島原方面より大波が山の如く打ちよせ、第二防波堤中波止は沈下し、その上突堤が短いため一隻の漁船も係留できず、避難場所が無く漁民は大変困っている現状である。

昨年の議会でも質問した通り、漁民の生命と財産を守るため竹崎漁港の防波堤修築と中波止物揚場の延長及び局部

成果があった。行政面で一層の努力をしたい。

**問** 環境週間に九州電力寄贈の苗木はどうしたか。

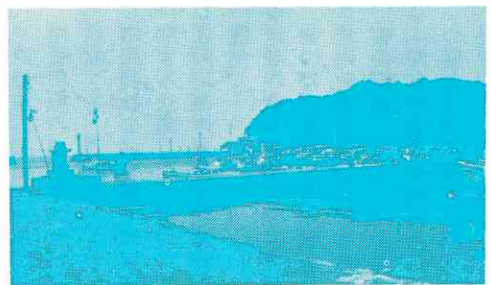
**助役** ツツジ外三百本を光風荘に植付けた。

**町長** ご指摘の通り竹崎漁港の北の突堤物揚場をもう少し延長すれば非常に良いと考えている。

今年道越漁港は総工費七千万円の補正予算を組んで、竹崎入口から道越漁協本所前まで道路を通すので、竹崎漁港物揚場延長は第七次漁港整備事業として農水省に今申請している。

この事業では南の方を少し延ばし北の方は思いきって延ばしたいと計画している。

今後は政府の臨時行政改革が実施されるが、漁業政策を全然やめる事はないので、なんとか計画に入って、船がどんな嵐の時でもつなげるよう



物揚場延長を要望の竹崎漁港

**要望** 竹崎漁港は大変老朽化し、そこに破損を生じ沈下しているので、強かに政府に陳情し、一日も早く実現されたい。

## 委員会に付託 されたもの

総務常任委員会

**請願** 郵便貯金の現行制度の存続に関する意見書の提出を

**請願** 求めるもの

**請願** 「郵貯懸を見守ること」を求めるもの



# 議会の動き

4月～6月

4 / 1	消防団入退団式
4 / 3	B & G 運動広場・ナイター施設落成式及びソフトボール試合（町議対課長）
4 / 13	いふく保育園落成式
4 / 6	第三回臨時議会
4 / 6	多良小中学校体育館落成式
5 / 12	町議会広報準備委員会
5 / 19	正副議長・常任委員長研修会
5 / 20	江岡川改修促進期成会
5 / 21	し尿処理特別委員会
6 / 1	全員協議会
6 / 7	大浦公民館落成式
6 / 10	教育振興会総会
6 / 22	議会運営委員会
6 / 26	定例議会（第二回招集）本会議（第一日目）
6 / 30	上水道拡張工事落成式
6 / 29	本会議（第二日目）
6 / 30	本会議（第三日目）

議長（総務）	白水 虎雄	副委員長	田口 又雄
副議長（建設）	坂口 武久	委員	久保 豊蔵
総務常任委員会			
委員 長	石丸 等一		
副委員長	坂井 達馬		
委員	中溝 忠喜	建設常任委員会	
	田原松四郎	委員 長	永渕 清
	中村 智利	副委員長	吉田 義夫
	川下 広海	委員	与猶 代
経済常任委員会			
委員 長	待永九州男	監査委員	大鋸四方太
		（経済）	
		委員	百武 豊
			北島 勝義
			川瀬 勝
			江口 末男

暑中お見舞い  
申上げます



## 編集室より



「議会だより」は数年前に発行になり、数回発行されましたが、種々の理由から中断したままになっておりました。

このたび議会の良識として、過去の反省の上に立って、再び発行することを全議員一致で決めました。

今度発行の「議会だより」は、定例議会ごとに年四回発行いたします。

内容としては、各議員の一般質問とこれに対する町長ほか執行部の答弁を中心に、議決された事項・常任委員会の報告・議会の動きなどを、町民皆さんに報告することになりました。

一般質問と答弁は、各議員が自分のものについては、責任をもって一人につき七百字以内に質疑・答弁をまとめて提出し、これを集めて編集委員会で発行迄のしごとをすることになっております。

紙面の都合で字数を制限したり、又文章も口語文をやめ、敬

語を省いたために、特に一般質問や答弁はあらずじだけに縮められ、或は省略する部分があり皆さんの満足を得ない面が多いことを深くおわびいたします。

原稿の提出から発行まで、不慣れた議員の手によって発行された、この「議会だより」でございまして、ご愛読の程をお願いいたします。

この「議会だより」が回を重ねるたびに、よりよいものになりますよう、私たち編集委員一同頑張りますことをお約束してごあいさついたします。

編集委員長 石丸 等一

坂井 達馬

百武 豊

中溝 忠喜

江口 末男

田原松四郎

中村 智利

# Smokin' Clean



## 街を自然を美しく

吸いがらの投げ捨てはやめましょう。